



3daysofdesign 2025
トム・ディクソン 『THE SHOP』
ポップアップストア をコペンハーゲンの中心エリアにオープン

会期：2025年6月18日（水） - 20日（金） 8:30-19:00

会場：Møntergade 3D, 1116 København

THE SHOP

**Tom
Dixon.**

SS26 Presentation

Møntergade 3d
1116 København

3 Days of Design 2025
18-20 June 2025

To book a private tour or an
interview with Tom, please
contact our press office

8:30AM - 7:00PM

press@tomdixon.net



イギリスのインテリアブランド、Tom Dixon（トム・ディクソン）は、3daysofdesignの期間にあわせ、3日間のPOP UP STORE『THE SHOP』をオープンします。

また、同会場にて、2025年の秋冬の新作にとどまらず、2026年のプレビューなど、最新作を展示します。

歴史的に、イングランドは『商人の国』と称されてきましたが、この称号を誇りを持って受け継ぎ、トム・ディクソンは、都市部に最適な規模の“マイクロストア”を、同じconceptのもと国際的に展開していきます。今後3か月の間に、ニューヨーク、シドニー、台北にオープンし、みなさまにショッピングを楽しんでいただきたいと思います。

トム・ディクソン



プレスお問合せ先

Tom Dixon PR SUPPORT

HOW INC.

MAIL : pressrelease@how-pr.co.jp

TEL : 03-5414-6405

お客さまお問合せ先

TOM DIXON TOKYO / TDX株式会社

TEL : 03-6421-0847

WEB : <https://www.tomdixon.tokyo>



TOM DIXON BIOGRAPHY

2002年に設立された Tom Dixon (トム・ディクソン) は、ブランドのアイコンである照明を中心に、家具、インテリア・アクセサリを展開するイギリスの上質なライフスタイルデザインブランドです。ロンドンをはじめ、ミラノ、香港、ニューヨーク、東京、杭州、北京、上海を拠点に、世界約90カ国で展開しています。ブランドのルーツであるイギリスの伝統、文化からインスパイアされたデザインは、その先駆的で独創的な素材や技術の活用方法が世界中で広く認知され、高く評価されています。



ブランドの創業者であり、クリエイティブ・ディレクターを務めるトム・ディクソンは、1980年代半ばに、廃材を溶接し、様々なアート作品のような家具を世に放つことで、破天荒な異色のデザイナーとして注目を浴びました。その後、イタリアの大手家具メーカー、カッペリーニ社とのコラボレーションにより、「Sチェア」をデザインし、その奇抜なデザインが高い評価を得ました。



90年代後半には、英国のライフスタイル・ショップ「ハビタ (habitat)」のクリエイティブ・ディレクターに就任し、シンプルでモダンなデザインを通じて日常生活を豊かにするというテレンス・コンランのビジョンを維持しながら、ハビタのブランドイメージの再生に成功しました。2001年、英国デザイン界への貢献が認められ、女王陛下よりOBE (大英帝国勲章) が授与されました。

2014年にはパリのメゾン・エ・オブジェで「デザイナー・オブ・ザ・イヤー」を受賞。2019年にはRHS (王立園芸協会) が主催する切尔西・フラワーショーでベストガーデン賞の銀メダルを獲得。同年、ブリティッシュランド・セレブレーション・オブ・デザイン賞で名誉あるロンドンデザインメダルを受賞するなど数々の賞を手収め、業界で最も称賛される英国人デザイナーの一人であり、類まれなる才能を持つデザイナーとして国際的に高い評価を受けています。



2007年に設立されたDesign Research Studio (デザイン・リサーチ・スタジオ) は、トム・ディクソンが主宰する革新的なデザイン・オフィスであり、最近のプロジェクトとしては、Virgin Voyage (ヴァージン・ヴォヤージュ) が初めて手掛けるモダン・ライフスタイルを満喫できる客船のインテリア・デザイン、フランスのベルシーにあるプルマンホテルのリニューアル、パリ シャンゼリゼのレストラン「Le LE Drugstore (ル・ドラッグストア)」、そしてレストラン、ショップ、デザイン・オフィスが一体となったTom Dixon ヨーロッパ初の旗艦店、イタリア ミラノの「Manzoni (マンゾーニ)」など、世界各地で数々の傑出した空間構築を手掛けています。そして2018年、Tom Dixonは自社の本拠地を、ロンドンのキングス・クロスにあった広大な鉄道操車場跡地に建設された大型再開発プロジェクト「Coal Drop Yard (コール・ドロップ・ヤード)」に移転しました。



Beat (ビート)、Melt (メルト)、S-Chair (Sチェア)、Wingback (ウィング・バック) などのブランドを代表する商品は、単なる商業的なベストセラーという意味合いだけではなく、その一部はロンドンのヴィクトリア&アルバート・ミュージアム、ニューヨークのMOMA、パリのポンピドゥーセンターなど、世界でも著名な美術館にアート作品として所蔵されています。また、Fat Chair (ファットチェア)、Spring (スプリング)、Swirl (スワール) など直近3年間でお披露目された商品も、そのデザインの独創性から、多くの市場の支持を受け、Tom Dixonの新たなブランドのアイコンとして認知されはじめています。

